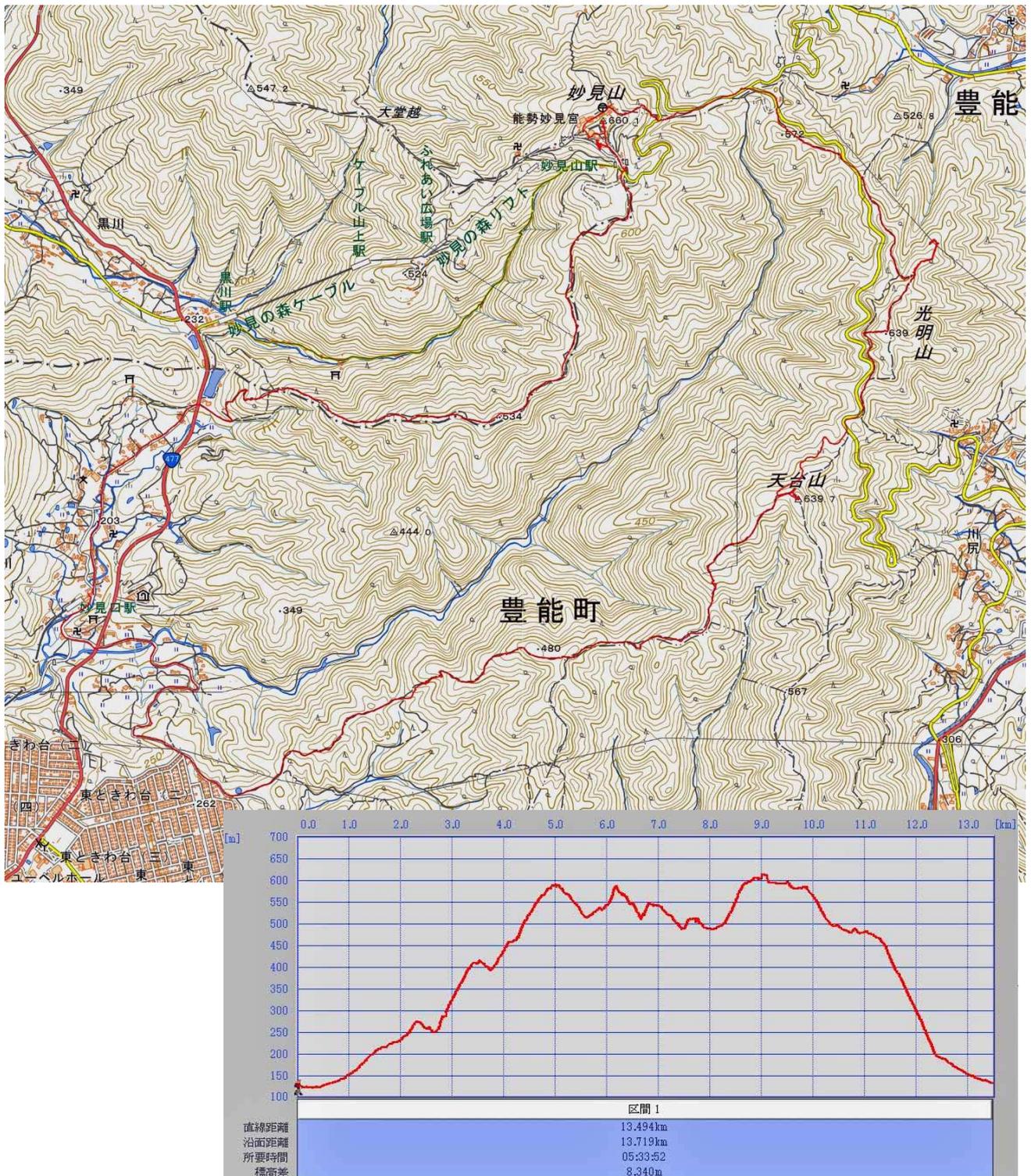


2020年11月21日(土) 晴 北摂「妙見山」
 山の会例会主宰 L: 廣田富三、山室昭宏、田村太二 計3名

コース距離: 13.7km、 所要時間: 5時間34分(休憩含む)

コースタイム: 妙見口駅(9:38)→(10:05)東ときわ台登山口→
 (10:13)青貝山分岐→(11:29)天台山→(11:56)光明山→
 (13:15)妙見山【食事休憩】(13:53)→(13:59)上杉尾根→
 (14:24)休憩(14:29)→(14:57)上杉池→(15:12)妙見口駅

* 山行軌跡 と * 行程グラフ



山行記： 阪急高槻市駅で待ち合わせ、8時20分発の特急に乗車し乗り継ぎながら妙見口に。

大勢の登山者が電車を降りられた、登山準備をして9時38分に東ときわ台を目指し出立多くの方は別方向に行かれバスに乗る人たちも居られる。

国道を渡り初谷川の橋も越え行くと先行者の方々は細い道に入って行かれる、初谷川を徒渉しながら行くメインの登山道だ。

私達だけ右の大きな道を行き東ときわ台の住宅街を越えると天台寺への登山道となる、ここから長時間の登り道となる、駅から1時間51分掛かって天台山に到着する。

天台山から80m程戻り光明山を目指して進んで行くが光明山への入り口を見落として進んだようで光明山への標識があり急登を登って行くことに。

光明山から先に進み又道を誤り関電巡視路に160m入ってしまい引き返す事に、登山道に戻り進んで行くと一端車道歩きでをして反対側の登山道に入ってまた車道歩きになって初谷川の登山口を過ぎてまた登山道に入って能勢妙見宮入り口に。

此処からはマスクを着用の表示がありマスクをして歩き妙見山山頂に到着して食事場所を求めて移動して山上公園で食事休憩を摂る。

食事後は下山に掛かり駐車場に向かう、妙見山はケーブルとリフトを使っても登って来れる山で車でも来れる山だ、駐車場に出て奥に位置する登山口の上杉尾根を下って行く。

この登山道は一番歩きやすい登山道だが下の方は落ち葉がある滑りやすくなっている、国道を信号無視して渡り駅への道は「花折街道」と呼ばれている道を歩き妙見口駅へ、駅前でY氏は先に帰途二人で駅前の店に立ち寄ってから帰途に就く。



初谷川登山道と
天台山登山道の分岐





上 光明山山頂
左 天台山山頂の三等三角点



登山道から大阪湾を遠望



左 妙見山彰忠碑前にて

右 妙見山の
四等三角点

